

一月の天象

太陽 赤經は一八時四二分四二秒より二〇時五五分二一秒迄増加し、赤緯は南二三度五分より同一七度二二分迄減退す。六日午後一時六分小寒節、二十一日午後四時二九分大寒、太陽は磨羯宮より冬の第二の宮なる寶瓶宮に入る。

地球 二日午前一一時近日點通過。

月 六日午後九時四七分新月、一四日午前七時四四分上弦月、廿二日午前九時五十六分滿月、廿九日午後二時五二分下弦月。四日午後七時一二分近地點を、十六日午後一時四二分遠地點を通過す。

水星 一日赤經二〇時二分四秒、赤緯南二〇度五一分、十六日赤經一九時一四一分一秒、赤緯南一八度五五分、射手座にあり。三日午前五時昇交點通過、四日午前四時留、七日午後七時五〇分月と合(月の南一度三三分にあり)。七日午後八時近日點通過。十三日午後一時太陽と内合、十八日午前二時北方最大心日黃緯。廿四日午後六時留。視直徑七・六六一・七・四〇秒。光度〇・一一〇・三等。十五日地球よりの距離一億一萬三千二百餘軒なり。

金星 一日赤經二〇時四二分八秒、赤緯南二〇度一分、十六日赤經二二時五十六分七秒、赤緯一四度一分、山羊座を順行中の宵星。九日午前五時二五分月と合(月の南三度一四分にあり)。視直徑一一・七六一・一三・一〇秒

光度負三・四—三・五等。十五日地球よりの距離二億〇三百八十二萬四千餘軒。

火星 一日赤經一五時三三分五七秒、赤緯南一六度三三分、一六日赤經一五時四三三分二秒、赤緯南一九度七分、天秤座を順行中の曉星。三日午前〇時五三分月と合(月の南四度二三分にあり)。卅一日午後二時五〇分月と合(月の南四度五二分にあり)。視直徑四・六二—五・三〇秒、光度一・七七一・四等。十五日地球よりの距離二億八千五百八十八萬六千餘軒。

木星 一日赤經一六時二六分一五秒、赤緯南二一度〇分、一六日赤經一六時三三分五二秒、赤緯二度二七分蝎座を順行中の曉星。四日午前九時四十九分月と合(月の南四度二八分にあり)。極直徑二九・七八—三一・五〇秒、光度負一・三—一・四等。十五日地球よりの距離九億〇一百六十萬八千餘軒。

土星 一日赤經一三時五八分三三秒、赤緯南九度三三分、一六日赤經一四時一分四一秒、赤緯南九度四六分、乙女座を順行中の宵星。二三日午後四時下矩(太陽と矩象)二九日午前三時三三分月と合(月の南二度六分にあり)、極直徑一四・八六一・一五・六二秒、外輪の長軸一三・三—一・一六秒、短軸一〇・八五秒。光度〇・九—一・〇八秒。十六日地球よりの距離十四億六千五百九十一萬八千餘軒。

天王星 十五日赤經二三時五三分三秒、赤緯南六度四一分、水瓶座を順行中。一一日午前五時四九分月と合(月の北〇度一八分にあり)

(三八)

十五日地球よりの距離三〇億九千二百九十九萬八千餘軒。

海王星 十五日九時二八分四〇秒 赤緯北一度九分蟹座を逆行中。二三日午後九時二八分月と合(月の北一度二分にあり)。十五日地球よりの距離四十三億六千二百二十五萬餘軒

流星群 上旬には龍座流星群の出現あり。四日曉に最も顯著なり。又下旬には牧夫座(牛飼座)北部より甚だ速かなる輻射あるべし。

アルゴル極小推算
一月十四日 午前 二時四十五分
十六日 午後 十一時三十四分
十九日 同 八時二十四分
二十二日 同 五時十三分

日の視半徑
一月一日 一六分一八秒 二十一日 一六一・七
十一日 一六一・七 三十日 一六一・六

一月夜明、日出入の時刻及其方位
夜明 日出 日没 日暮 日出入方位
一月一日 六時 六時 四時 三時 南云二
十六日 六時 六時 四時 三時 南云二

壹月南中の星座
一月一日 ヘルセウス、牡羊、エリダヌス
十六日 ヘルセウス、牡牛、エリダヌス